

みちのく森の楽校だより



2017年

10月号



リンドウ



シラヤマギク

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。

2017年10月21日発行

10月21日(土) 雨、雨、雨…

このところ、雨ばかり…。昨日の天気予報では、今日は曇りだったのに、朝になっても雨が降り続いていました。今回初めて「森の楽校」に参加された方には、本当にお気の毒でした。

お天気の良い日に、ぜひまた来てくださいね！

食用菊収穫！さつまいも収穫！

まずは畑で食材の収穫です。

秋の畑はすでに夏野菜を片づけ、ハクサイの苗を植えました。少し、育ってきました。



ハクサイの苗

今、収穫できるのは、春に植えたモッテノホカ(食用菊)とサツマイモです。

実は、植えばなしで草取りもろくにしていない「粗放管理」の畑です。どんな作物ができているか、少し心配…。サツマイモは1本目はなしでガッカリ、でも2本目は5つのイモが収穫できました！



モッテノホカ(食用菊)



サツマイモ



雨の中、いざ、森の楽校へ！ナメコの収穫！

今日は雨がひどいので、小野分校での活動にしましたが、ツリーハウスの様子見と「ナメコ収穫」のため、泥んこの中、いざ、森の楽校へ向かいました！雨具をしっかりと着込んで、移動しました。

「ええ～、ここを登るの～？」という抗議の声もありましたが、転ばないように、泥に足を取られないようにゆっくりと登りました。

ほだ木を見ると、大きめのナメコが！

去年より遅く、量も少ないようですが、初物としては充分です。



かまどで調理！

小野分校の外にかまどを出して、薪で調理しました。お釜でご飯を炊き、大鍋でナメコ汁を煮ました。ご飯は、収穫したサツマイモを入れたサツマイモご飯。モッテノホカ（食用菊）は酢の物にしました。

七輪に炭火を焚いてサクラの薪をいぶして、燻製づくりもしましたよ。



薪割り

冬支度として、薪割りをしました。薪材は、南地区で伐採された丸太材、1mの長さに玉切して運んでもらいました。時間があれば、とにかく薪割りをします。

手斧での薪割りは、腰を落として、スナップを利かせて、斧の重さで割るのがコツです。

電動の薪割り機も使いました。太い丸太がメリメリと割れていきます。



斧で薪割り



薪割り機

ドングリの里親、ドングリ苗づくり

森の楽校へ移動する間に、泥んこの園路でドングリを拾いました。今年は多いですね。

牛乳パックの8分目まで土を入れて、その上にドングリを2つずつ置いて少し土をかけ、苗づくりをしました。苗を3年育てて、山に植え付けます。



コナラのドングリ

